家族社会学 2024年４月９日火曜日【4時限目】14:40―16:10　4F401

第1回【オリエンテーション】 家族をどうとらえるか、家族のイメージ、家族の定義　講義概要や進め方等の説明

●リアクションペーパー＃１ 家族のイメージ

あなたを中心に、あなたの家族とその関係を図(漫画・イラスト可)にしてみて下さい。

★現実の関係でも理想のイメージでも可★現在でも過去でも未来でも可

★どこまでの範囲を家族とするかは全く自由：隣のおばさんや、携帯電話で繋がる相手、ペット、先史時代に遡る祖先、不倫相手、何でもあり

内容に関係なく課題点（20／15）を差し上げます。来週の講義時に提出して下さい。

学科名　　　　　　　　　学年　　　　学生番号　　　　　　　氏名

家族社会学 4月16日火曜日【4時限目】14:40―16:10　4F401

第2回【家族分析の手がかり】家族にかかわる用語、家族の類型

●リアクションペーパー＃2 家族にかかわる用語、家族の類型

学科名　　　　　　　　　学年　　　　学生番号　　　　　　　氏名

講義を聞いて関心を持った事があれば、レチェックして下さい。

□形態面からみた家族の特徴：①夫婦関係（社会的関係）と親子関係（生物学的関係）がベース。②インセスト・タブー(incest taboo：近親相姦禁止規則）がある。③感情的関わり（emotional involvement）の強い心理集団④生活共同体的機能を持つ⑤通常同居する

□エディプスコンプレックスの話

□インセスト・タブーの話（中国の同姓不婚（父方）など）

□家父長制（かふちょうせい）

□父系制（ふけいせい）

□母系制（ぼけいせい）

□二重単系制（にじゅうたんけいせい）

□双系制（そうけいせい）

□平安時代の家族形態は？

□定位家族（family of orientation）

□生殖家族（ family of procreation）

□家族の類型には、①夫婦家族制②直系家族制③複合家族制の３つがある。

□家族の分類には①核家族②複合家族③拡大家族の３つがある。

□アダムス・ファミリー③拡大家族

□ザ・シンプソンズ①核家族

□さざえさん②複合家族

□ちびまるこ②複合家族

□クレヨンしんちゃん①核家族

●その他：感想・質問などあれば、

家族社会学　4月23日（火）日【4時限目】14:40―16:10　4F401

【家族の歴史的変化】「近代家族」とは、「主婦」の誕生

●リアクションペーパー＃３

学生番号　　　　　　　　　氏名

専業主婦についてどう思うか、いずれか該当する方を選択し（レを入れ）、その立場から、あなたの意見をを述べなさない。（正解はありませんが、なるほどといえるような内容を期待します。）

1.あなた自身、専業主婦または専業主夫になりたいですか？

* なりたい。
* なりたいけど、なれない。
* なりたくない。
* 結婚しない（のでならない）。
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

2. パートナーには、専業主婦または専業主夫になってもらいたいですか？

* なってほしい。
* なってほしいけど、無理なので望まない。
* なってほしくない。
* 結婚しない（ので関係なし）。
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３.専業主婦または専業主夫をやっている人をどう思いますか？

* 素晴らしい
* うらやましい。
* 個人の自由
* 不公平
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4. 専業主婦の第３号被保険者問題について　あなたの意見は？

家族社会学　4月30日（火）日【4時限目】14:40―16:10　4F40３

第４回【家族の変動】
家族形態の変化、家族機能の変化

●リアクションペーパー＃４

学生番号　　　　　　　　　氏名

日本の世帯数の将来推計（全国推計）令和 6（2024）年推計の結果について、

どう思いますか？該当するものにレを入れなさい。

１ 世帯総数は2030 年をピークに減少、2050 年の平均世帯人員は1.92 人に。2050 年には単独世帯が44.3%、2,330 万世帯に

* なんとも思わない。
* 家族で暮らす人が減って行くのは寂しい。
* １人の方が気楽に生きられる。
* 2050年にはペットやロボットなどのパートナーと暮らすようになる
* 1人暮らしの人が増えるので、介護需要が増える。
* センサーを使った見守りサービスなどで孤独死はなくなる。
* 非常に不安だ。□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２ 65 歳以上の高齢世帯数のピークは2045 年、75 歳以上の世帯はいったん減少した後再度増加する

* なんとも思わない。
* 65 歳以上の高齢世帯が減少すれば、世の中が明るくなる。
* 75 歳以上の世帯はいったん減少した後再度増加するとしても、高齢者の健康寿命ももっと伸びるので活力のある社会になる
* その年齢になった自分をイメージできない。
* そんなに長生きしたくない。
* 非常に不安だ。□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　2050年の男性高齢単独世帯の6割は未婚、近親者のいない高齢単独世帯が急増

* なんとも思わない。
* 自分もその一人になるだろう（女性の場合もOK）
* 近親者のいない高齢単独世帯が急増しても仕方がない
* 結婚するかしないかは個人の自由だ。
* お一人様の老後を楽しめる社会にすべきだ。
* 自分がそのような年齢になった自分をイメージできない。
* そんなに長生きしたくない。

□非常に不安だ。□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

家族社会学　5 月7 日（火）【4時限目】14:40―16:10　4F403

第５回【家族の内部構造】役割構造、勢力構造、感情構造

●リアクションペーパー＃５

学生番号　　　　　　　　　氏名

パーソンズによる核家族の役割構造について

あなたの考えに近いものを選んでレを付けなさい。

1.権力（power）:親（父・母）優位⇔子（息子・娘）劣位

□親は子どもを育てるのだから、親の方が優位になるのは当たり前だ。

□親子といえども別人格なのだから、親子は対等であるべきだ。

□自分の親は子どもの希望を最優先

□自分より親の方がエライと思ったことはない。

□親・祖父母とは友達関係　（□父親　□母親　□祖父　□祖母）

□親・祖父母によく叱られる　（□父親　□母親　□祖父　□祖母）

□親・祖父母に叱られたことはあまりない。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．権力（power）:＊父⇔母、息子⇔娘、兄弟・姉妹間は対等

□自分から見て父と母は対等。

□自分から見て父は母はより優位。

□自分から見て母は父はより優位。

□自分から見て、兄弟・姉妹間は対等。

□自分から見て兄姉の方が弟妹より優位

□自分から見て弟妹の方が兄姉より優位

□一人っ子なのでわからない。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３.役割（ロール）：＊男性は対外的役割・女性は内部的役割

・手段的[instrumental]：外部への適応と課題遂行（感情を抑制する）⇒夫・父・息子・兄弟

・表出的[expressive]：集団の維持と成員の統合⇒妻・母・娘・姉妹

□自分の家族の場合、よく当てはまる

□自分の家族の場合、ぜんぜん当てはまらない。

□自分の家族の場合、全く逆の関係。

□よくわからない

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

家族社会学　5 月14日（火）【4時限目】14:40―16:10　4F403

第6回【家族の形成】結婚の意味と機能
●リアクションペーパー＃６

学生番号　　　　　　　　　氏名

1.結婚のメリット：あると思うものにレを付けなさい

□経済的に余裕がもてる

□社会的信用を得たり、周囲と対等になれる

□精神的な安らぎの場が得られる

□現在愛情を感じている人と暮らせる

□自分の子どもや家族をもてる

□性的な充足が得られる

□生活上便利になる

□親から独立できる

□親を安心させたり周囲の期待にこたえられる

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．未婚のメリット：あると思うものにレを付けなさい

□行動や生き方が自由

□異性との交際が自由

□金銭的に裕福

□住宅や環境の選択の幅が広い

□家族を養う責任がなく、気楽

□友人などとの広い人間関係が保ちやすい

□職業をもち、社会とのつながりが保てる

□現在の家族とのつながりが保てる

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３．あなた自身の結婚について

●結婚の意思

□いずれ結婚するつもり

□一生結婚するつもりはない

□わからない　□すでに結婚している　□すでに離婚している

□関心なし

●結婚のタイミング

□ある程度の年齢までには結婚するつもり

□理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

□一生結婚するつもりはない□わからない　□すでに結婚している　□すでに離婚している　□関心なし

家族社会学　5月21日（火）(⇒6月11日（火））【4時限目】14:40―16:10　4F403

第７回【家族機能と社会的支援】子どもの養育と社会化、老親の扶養
●リアクションペーパー＃７

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊関心を持った項目をいくつでもチェックして下さい。

1.子どもの養育と社会化について

□子どもの「養育」とは、子どもの生活について社会通念上必要とされる監督・保護を行っている状態をいう。従って、児童手当は、親であっても子どもの監督・保護をしていない場合には支給されない。

□養育支援（訪問事業）とは、養育に支援が特に必要な家庭を保健師・保育士・ヘルパー等が訪問し、お手伝いする事業をいう。

□社会化（Socialization）とは、子供や、その社会の新規参入者が、その社会の文化、特に価値と規範を身に付けることをいう。

□第1次社会化は幼児期から児童期。言語や基本的な生活習慣の習得。担い手は主に家族。一般に母親との1対1の関係から始まる。

□第2次社会化：児童期後期から成熟期。社会的役割の習得。担い手は家族から学校・同世代・メディア・職場など。

□子育てに必要な費用（0歳～22歳まで）の合計は最低でも1人3000万円ほどかかるが、その85%程度は無償化される可能性がある。

□日本の保育利用率は64.3%（0－4歳人口）、定員充足率は89.1％。少子化で子どもの数は減ってゆくので、いずれ100％になる可能性がある。

□「子どもの養育の社会化」が進めば親子の経済的・時間的結びつきは弱まる。

２老親の扶養について

□親が70歳以上の「老人扶養親族」(本人の公的年金等の収入金額が158万円以下)である場合、子は同居老親等58万円、同居老親等以外48万円の扶養控除が、課税所得が減額される。

□老人（老親）の介護には、家族介護のみでなく、介護保険制度の利用（介護サービス：居宅・地域密着型・居宅介護支援・介護保険施設など）も可能となっている。

□高齢者の介護が問題化したの高齢化率が7％を超えた1970年代以降であり、それ以前は高齢者の貧困問題の方が深刻だった。

□昔は高齢者は少数の例外的存在。仮に介護が必要となっても、その期間は短く、人手は十分にあった（相対的に）。お年寄りは知識と経験の宝庫（人間データベース）。歴史・文化の伝承者。特に無文字社会では重要な存在だった。

□一般世帯に占める高齢者世帯の割合は、2020年の37.6%から2050年には45.7%。一般世帯の半数近くが高齢者世帯となり前期より後期高齢者世帯の方が多くなる。

□一般世帯に占める65 歳以上の単独世帯の割合も、2020年の13.2%から一貫して上昇し、2050年には20.6%へ。独居老人が多くなり、彼らの多くは家族や親戚を持たない。このため家族の介護機能は期待できない。

家族社会学　5月28日（火）（⇒6月18日火）【三限目】 13：00―14：30　4F403

第８回　【家族関係】夫婦関係、親子関係、高齢期の家族関係
●リアクションペーパー＃8

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊自分の考えに近いものをいくつでもチェックして下さい（その他に感想など）

1.『百年法』（山田宗樹 2012）

□いずれ不老長寿の社会が実現すると思う。

□自分が生きている間に不老長寿の社会が実現してほしい。

□不老長寿の社会などいらない。

□あまり長生きしたくない。

□不老長寿化すれば、家族は個人化してバラバラになると思う。

□永遠に続く家族関係というのも辛いかも知れない。

□短命だった昔の人よりは自分たちの方が幸せかも

□永遠に生きたいとは思わないが、健康なまま100歳ぐらいまで生きてぽっくり死にたい。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２『LOVE&SYSTEMS』（中島たい子2012）

□恋人や結婚相手を自分で見つけるのは大変なので、AIや政府にお任せしたい。

□恋人や結婚相手は自分で見つける。見つからなければ恋愛も結婚もいらない。

□恋愛や結婚には興味がないので、このような小説は理解できない。

□愛する人と家族を持てれば、結婚などという制度は要らないのではないか？

□政府が家族を指定するJ国のような社会には個人の自由がないと思う。

□F国のような社会の方が個人の自由が尊重されていると思う。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　『消滅世界』（村田沙耶香2015）

□セックス＝交尾（動物的でバッチイ）という感覚は理解できる。

□セックス＝交尾（動物的でバッチイ）という感覚は理解できない。

□夫婦間のセックスは〈近親相姦、気持ち悪い！〉という感覚は理解できる。

□夫婦間のセックスは〈近親相姦、気持ち悪い！〉という感覚は理解できない。

□自分の子どもを持つとすれば（□自然出産、□人工授精、□代理母出産、□人工胎盤、□自分の子どもはほしくない）。

□男性も妊娠・出産するようになればよいと思う。

□子どもは個人ではなく、社会が生み育てるようになれば良い。

□子どもを産み育てることは、個人の権利であり、社会が介入すべきではない。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

家族社会学　7 月2日（火） 【４限目】 14：40―16：10　4F403

第９回【家族の危機とライフコース】　家族の危機
第10回【ドメスティック・バイオレンス】DVの現状と対策
●リアクションペーパー＃9・10

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊自分の考えに近いものをいくつでもチェックして下さい（その他に感想など）

1.いわゆる8050(はち・まる・ごー・まる」問題について

□このような問題があることは、□知っていた／□知らなかった。

□このような問題には全く関心がない。

□親戚やご近所など周りで8050問題と思われるケースがある。

□自分も将来8050問題の当事者になるかも（□親□子□きょうだい）として。

□すでに50歳にもなった子どもの面倒を親がみるのは甘やかし過ぎだ。

□親には最後まで子どもの面倒みる責任がある。

□親と子は別人格なのだから、双方ともに相手の面倒をみる必要はない。

□8050問題への対応としては、親子を同時にケアすべきなのかも知れない。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２引き籠もりの問題について

□このような問題があることは、□知っていた／□知らなかった。

□このような問題には全く関心がない。

□自分の周辺で「引き籠もり」と思われるケースがある。

□自分も将来「引き籠もり」の当事者になるかも知れない。

□「引き籠もり」の人の気持ちは理解できる。

□「引き籠もり」の人の気持ちは全く理解できない。

□厚生労働省の「ひきこもり地域支援センター事業」では、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、公認心理師、臨床心理士等が「ひきこもり支援コーディネーターとして相談支援を行っている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３DVについて

□DV（domestic violence；ドメスティック・バイオレンス)または家庭内暴力という言葉を聞いたことがある。□初めて聞いた。□DVのような問題には全く関心がない。

□デートDVについては知っていた（□学校で習った）

□身の回りでDVと思われるケースを見聞きしたことがある。

□DVは、程度の違いはあれ、どのような家庭でもあると思う。

□DVは昔からあったと思う。□DVは少子高齢化が進んだから起きていると思う

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

家族社会学　7月9日（火）14：40―16 ：10 　4F401

第11回【虐待と家族】 児童虐待の現状と対策
●リアクションペーパー＃11

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊自分の考えに近いものをいくつでもチェックして下さい（その他に感想など）

1　児童虐待の事例:札幌市　池田詩梨（ことり）ちゃん事件について

□このような事件があったことは、□知っていた／□知らなかった。

□このような事件には、□全く関心がない／□関心がなかったが関心を持った。

□虐待されて亡くなった子どもが可哀想だ

□虐待した母親について全く理解できない。

□虐待した同居男性について全く理解できない。

□児童相談所の対応に問題があったと思う

□警察の対応に問題があったと思う

□周囲の人たちの対応に問題があったと思う。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２児童虐待に関する法律

□児童虐待防止法（2000年施行2020年改正）

□第二条「児童虐待」とは、保護者がその監護する児童（18歳未満）対して行う行為をいう。

□児童虐待には、①身体的虐待（暴行・傷害）②性的虐待（わいせつ行為）③保護者遺棄（ネグレクト）④精神的虐待（ハラスメント）などの類型がある。

□児童虐待防止法第３条は、「何人も、児童に対し、虐待をしてはならない」

□児童虐待防止法の改正（2020）は、しつけの際の体罰を禁じる。保護者だけでなく、児童福祉施設の職員ら子供の養育に携わる人が対象となった。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３児童虐待への対応・児童虐待の現状

□もし児童虐待かもと思ったら、いちはやく（１８９：児童相談所虐待対応ダイアル）に電話！

□児童虐待相談対応件数は、1990年の11,011件から2022年の219,170件に増加（約20倍）、過去最多を更新中。

□ただし虐待により死亡したこども数は近年70－80人で横ばいである。

□実の親による虐待88.9％（母親47.7％、父親41.2％）

□児童相談所から児童養護施設に入る子どもは10％程度

□増える児童虐待の背景にあるのは貧困と孤立問題。

□児童虐待は昔からあったが社会規範の変化からその防止が追求されている。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

定期試験の筆記問題の練習

【問題】　児童虐待の事例「池田詩梨（ことり）ちゃん事件」について、あなたの感想・考え・意見を述べなさい。 （400文字程度）

家族社会学　７月16日（火）14：40―16 ：10 　4F401

第12回・第14回
【社会変動と家族①】雇用流動化のもとでの家族形成【社会変動と家族③】雇用の流動化と中高年期の家族

●リアクションペーパー＃12・14

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊講義で印象に残ったことや自分の考えに近いものをいくつでもチェックして下さい（その他に感想など）

**1　非正規雇用の増加と未婚割合の上昇について**

●厚生労働省「21世紀成年者縦断調査」（2016年11月第5回）によれば、過去１０年の間に結婚した人は男性正規社員で2割強非正規では1割以下、女性は正社員の3割に対し非正規社員では2.5割以下。□自分も非正規なったら結婚できないと思う。□結婚とは関係ないと思う。□結婚する気はないので非正規でも良い、□結婚とは関係なく正規社員を希望。

●（同調査）結婚願望（絶対したい＋なるべくしたい）には、男女とも雇用形態で差があり正規より非正規の方が弱い。□結婚願望が低い人の方が非正規になりやすいのでは、□非正規の場合、結婚を諦める人が多い？

●（同調査）希望子ども数＝０または１の割合は非正規の方が高く子どもを持つことに対する意欲が弱い人が多い。□子どもを持つ意欲の弱い人が非正規になりやすいのでは？□非正規では、子どもを諦める人が多い？

●非正規就業（パート・バイト・契約・派遣社員）の増加⇒若者の低所得化⇒恋愛・結婚は無理⇒非婚化・生涯未婚⇒家族形成できない人が増えている。□その通り。□関係はあるが主要な原因ではない□まったく関係ない□非正規だと出会いの機会が少なくなるのでは？

**２．この問題に対する政府・地方自治体の施策について**

●札幌市のＡＩによる婚活マッチングサービス（さっぽろ結婚支援センター）について　□効果があると思う　□自分も利用してみたい　□政府・地方自治体が結婚・出産など個人の問題に介入すべきではない　□行政ではなく民間にまかせるべき　□効果はないと思う。

●現状の人口減少対策は１970年代中頃から急速に進行した少子高齢化を病理的現象と捉え、その背景や原因を究明し、政策介入により少子化・人口減少を食い止めることをめざしている。□効果があると思う。□効果はないと思う。□効果があるかどうかはやってみなければわからない。□効果の有無にかかわらずやるべきだ。□結婚・出産など個人の問題に政府・地方自治体が介入すべきではない。

●現行の施策：既婚者の出産・子育てが支援が中心。結婚支援事業はあるが晩婚化・非婚化に対する直接的な効果は期待できない。□効果がなくても出産・子育て支援は進めるべきだ。□効果がなくても若者の結婚を支援すべきだ。□結婚・出産などに政府・地方自治体が介入すべきではない

定期試験の筆記問題の練習

【問題】　講義で紹介した「早婚晩産のススメ」について、あなたの感想・考え・ライフプランを述べなさい。（400文字程度）

家族社会学　７月23日（火）14：40―16 ：10 　4F401

第13回・第15回【社会変動と家族②】育児期の家族生活と職業生活【これからの家族】個人化と社会的包摂

●リアクションペーパー＃13・15

学生番号　　　　　　　　　氏名

＊講義で印象に残ったことや自分の考えに近いものをいくつでもチェック。

**1　育児期の家族生活と職業生活について**

□男女共同参画社会とは「男女がお互いを尊重し合い、職場、学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会」をいう。

□日本国憲法第14条「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」は、男女共同参画における「男女平等」原則の根拠となってる。

□男女共同参画社会基本法（1999:H11） 第二条一項は「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成すること」と規定している。

□2023年現在、日本のジェンダーギャップ指数（GGI）」は世界146か国中125位（ビリから数えて21番目！）

□2021年現在、6歳未満の子を持つ世帯の育児・家事関連時間は妻が7時間28分に対し夫は1時間54分しかなく、依然として「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業が当たり前となっている。

□育児期の家族生活においては、男女ともに「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が追求されている。

**２．個人化と社会的包摂**

□近代社会における家族では選択不可能・解消困難な関係性が前提となっていた。このため個人の自由を制限し,抑圧する可能性がある一方、 個人（構成員）に対し経済的,心理的安定性を提供する可能性もあった。（個人は家族内に包摂されていた）

□現代社会における家族では、家族構成員一人ひとりの選択可能性が広がり、家族内での個人化が進む一方、「家族であること」 を選択する自由, 解消する自由 (未婚 ,子どもをもたない夫婦,離婚の一般化)が拡大し、家族自体の個人化（家族の消滅？）が進む。（個人は家族ではなく社会全体に包摂されねばならない）

□家族の個人化の進行は、選択の自由を行使できる者（強い個人）とできない者（弱い個人）への二極化や格差の拡大・階層化に向かっている。

□家族から排除される人・家族を形成できない人・家族の中に取り残される人、弱い個人（子ども・高齢者・女性・障害者・失業者）には社会的支援が必要となる。

□社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）とは、社会的にっ個人を包み込むこと、つまり誰も排除されず、全員が社会に参画する機会を持つことを意味する。

定期試験の筆記問題の練習

【問題】　「家族の未来」について、あなたの考えを述べなさい。 （400文字程度）